

服部病院だより

新年号

—地域医療連携室便り—

2023年（令和5年）1月

地域医療連携室

0794-83-5327（直通）

〔基本理念〕

私たちは、利用していただける方々に最善の医療を尽くすことに努めます。

〔基本方針〕

1. 地域住民の方との繋がりを大切にします。
2. 患者さんの人格を尊重しつつ、チームで安心・安全な医療の提供に努めます。
3. 予防・医療・介護との継続、かつ、透析医療においてリードする病院をめざします。
4. 医療の専門職として、継続学習と人間性豊かな医療人の育成に努めます。
5. 職員が自主・自律の精神のもと、働きがいのある職場環境をつくります。

新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まり3年が経過しました。

昨年末から第8波が始まり、兵庫県も1日の感染者数が1万人を超えるようになりました。年明けも感染の勢いが収まる気配がなく、感染対策に追われる日々が続いています。

さて、当院は、昭和42年3月に7床の服部外科医院として開設してから、半世紀以上が経過し、今年、創立57年目がスタートします。

この間、神戸市のベッドタウンとして三木市の人口が急増するのに合わせて増大する医療ニーズに対応するため、診療機能の整備を図ってまいりました。

現在、入院患者さんの6割、外来患者さんの7割が三木市民の皆様です。病院は「地場産業」とも言われていますが、改めて地域の皆様に利用していただいてこそその病院経営ということを感じています。

三木市の将来人口推計（住民基本台帳人口に基づく推計）では、長期的に減少傾向が見込まれる一方で、75歳以上の人口が増加、令和13年頃には、人口の約4人に1人が75歳以上となる見込みです。

今後、総人口の減少で急性期医療の需要は大幅に減少する一方で、高齢化で在宅や高齢者向け住宅・介護施設などで療養する高齢者の急激な増加が見込まれます。既に当院での入院の7割、外来の3割が75歳以上の患者さんです。その疾患もいわゆる multimorbidity（複数の慢性疾患が一個人に併存している状態で、中心となる疾患を特定できない状態）の方が増加しています。医師にも従来の臓器別専門だけでなく、総合医的なマインドが求められています。

このような医療需要の背景を踏まえて、今年は、以下の点に重点的に取り組んでいきます。

第一に病床機能を再編し、「地域包括ケア病床」を拡大します。地域包括ケア病床では、入院された患者さんに状態に応じたりハビリや医療ケアを包括的にを行い、自宅での生活に自信をもって復帰してもらうための支援を行う病床です。

急性期治療を経過し一定程度で状態が安定した患者さんや在宅で療養中に肺炎等の軽症急性疾患になった患者さんの受け入れに対応していきます。

第二に在宅療養支援病院として在宅医療を推進します。在宅療養の担当医師を配置し訪問診療を開始し、地域のケアマネジャーや訪問看護事業所と連携し、退院後の患者さんの在宅での療養をしっかり支援していきます。

第三に当院の特色である透析医療の機能強化を図ります。外来透析の患者さんも高齢化が進んでおり、経験豊富な透析看護認定看護師、糖尿病療法指導士（管理栄養士）を配置し、腎臓内科専門医の増員で、透析医療の更なる質の向上を目指します。

当院は、今年も地域の皆様に身近な病院として、地域の健康を支える病院としての使命を職員一人一人が自覚して、日々の診療に取り組んで参ります。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



病院長 服部 哲也

新年の



新年あけましておめでとうございます。

今年の干支は癸卯です。「癸」は生命の終わりを意味するとともに新たな生命が成長し始めるという意味があり、「卯」はもともと「茂」という字が由来で「春の訪れを感じる」という意味があるそうです。

今年はこの数年世界中を混乱させ、疲弊させた COVID-19 からの新たな飛躍の年になりますようにと切に願っています。

婦人科診療においては一昨年から開始したオンライン診療や午後の診察は完全予約制として待ち時間の無い様になど時代に即した要望に努めていきたいと思っています。

婦人科受診の敷居を下げ、受診してくださる方を第一に考え、誠実な医療ができるように変わらず努力していくつもりです。

今年もどうぞよろしくお願い致します。



副院長兼婦人科
服部 奈緒

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は発生から3年になりますが、おさまる気配はなく、繰り返すたびに波はさらに大きくなってきています。収束はほとんど望めず、何度もワクチンを打ちながら長くつきあっていく必要がありそうです。

私はクリスチャンで、毎朝聖書を読んでいます。ある日のみことばは、「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主がなしとげてくださる。」(詩篇 37:5)でした。今日すべきことを忠実にを行い、結果は神さまにゆだねていきます。

現代は便利な聖書アプリがあります。「聴くドラマ聖書」は無料でダウンロードでき、旧約、新約聖書全部が読み、また朗読を耳で聴くことができ、優れものです。聖書は書店で購入すると数千円かかる分厚い書物ですが、全部スマホに入って便利です。是非お試しください。

今年も主の祝福があるようにと祈っています。



副院長兼循環器内科部長
栗野 孝次郎

昨年も激動の年で、出向日、同院-近傍で元首相が狙撃され、十数年前、勤務先への王将-社長の搬入を彷彿としましたが、容疑者も漸く逮捕されました。“祝賀の時期に何て話をするのか”と気分を害される方も多いかとも存じますが、大半が幸せに新年を迎えられる中でも、様々な疾患を抱え受診される方と、応召する医療スタッフが居ます。卒年-秋~当院へ着任-迄、一貫して救急病院に勤めましたが、何れも“断らない救急”を掲げつつ、他院が収容せぬ故の“断れない救急”が実情でした。昨今“Life-Work Balance”が叫ばれ、多くが(土/日)休診を採り、“受容先の激減”が加速。綺麗事で済まない“医療-逼迫”が“超高齢化社会”で益々、深刻化したと感じます。“Man Power=人的資源”面で避けて通れぬ課題ですが、日々の診療で“急変~救急搬送に陥る方を少しでも減らせる様、努めて参ろう”と心機一転の候でも在り、此の一年の皆様の御健勝を祈りつつ、御挨拶に替えさせて戴きます。



副院長兼神経外科部長
大脇 久敬

ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

整形外科 斯波です。

2020年4月1日 服部病院に赴任しまして、もうちょっとで4年目を迎えます。

コロナももう4年になりますね。考え方は人それぞれでしょうが、私はいまだにステイホーム(まだこんな言葉残ってるん?)してます。

勤務終了近くになるとその日の夕食のメニューを考え、週末になると今週のやるべき家事の内容を考えます。風呂掃除は辛いです。食器洗いは慣れました。コンロやトイレ掃除はお手のものです。家事ってホントに大変ですよ？こちらに来て嫁のありがたさがよくわかりました。

まあしょうもない与太話でした。今年もお仕事頑張ります！

みなさん、頑張っていきましょう。今年もよろしくお願い致します。

整形外科部長
斯波 卓哉



明けましておめでとうございます。

昨年は病棟での皮膚感染症対策で、冷房が効いているとはいえ真夏の暑いさなかPPEを装着し、汗だくになりながら看護しておられる看護師さんの姿に神々しさを感じ、頭の下がる思いでした。

今年は外科が神々しさを発揮できるよう精進したいと思います。

皆様にとりまして良い一年でありますように。

外科部長
三方 彰喜



新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大から早や3年の年月が過ぎようとしています。

すでに第8波に突入したといわれますが、この書面が掲載される頃に、世間で各都道府県による「医療非常事態宣言」が出されていないことを祈りつつ、回り八病棟では、患者様・ご家族様が少しでも健やかな毎日が送れるよう工夫を重ね臨んでおります。

本年こそこのコロナ禍脱却をお祈りし、より一層地域医療にお応えできる飛躍の年としてゆきたいと思ひます。

回復期リハビリ科部長
田井 裕之



服部病院 外来診療担当医表

診療科	診察受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	9:00~12:00	1診	栗野孝次郎	長尾 学	吉田信治	那須正道	関田憲一	的場 俊
		2診	小坂理恵子	那須正道	内山 奏	栗野孝次郎	小坂理恵子	上田智朗(第1・5) 菅真紀子(第3)
	13:00~17:00(予約)			那須正道 小坂理恵子	関田憲一 (腎臓専門外来)			
	18:00~20:00		小坂理恵子		那須正道		栗野孝次郎	
外科	9:00~12:00		服部哲也	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	三方彰喜	金澤成雄
	13:00~17:00					金澤成雄	金澤成雄	
	18:00~20:00		神戸大学	服部哲也	三方彰喜	服部哲也	金澤成雄	
整形外科	午前	予約外来	楠 巖	楠 巖	松宮 豊	楠 巖	斯波卓哉	斯波卓哉 (予約・リハビリ外来)
		新患外来 リハビリ外来	楠 巖	楠 巖(第1) 斯波卓哉 (第2・3・4・5)	松宮 豊	斯波卓哉	楠 巖	尾ノ井勇磨 (新患・予約外来)
	夜間	一般外来		楠 巖		斯波卓哉	藤原周一	
脳神経外科	9:00~11:00		大脇久敬		大脇久敬			
	15:00~17:00		大脇久敬 (原則予約)		大脇久敬 (原則予約)			
婦人科	9:30~12:00		服部奈緒	服部奈緒		服部奈緒	服部奈緒	服部奈緒
	14:00~17:00(予約)		服部奈緒			服部奈緒	服部奈緒	
泌尿器科	9:00~12:00		樋口彰宏					

・内科土曜日2診は、上田医師(第1・5週)、菅医師(第3週)が担当します。

(令和5年1月現在)

★担当医は変更になることがありますのでご了承ください。

★変更になる場合は、各科診療室前に掲示してありますのでご注意ください。

おいしいお店紹介



ようきや

住 所：三木市加佐275-9

定休日：月曜日

TEL：0794-82-8666



みたらし団子が
超おすすめです



関連施設

三郎記念クリニック

■ 診療科目：人工透析・内科(腎臓内科)

透析医療専門のクリニックです。経験豊富なスタッフがきめ細やかなサービスを提供します。

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家1350-1

駐車場完備

TEL 079-423-2055 FAX 079-423-1256

服部病院診療科目

内科・腎臓内科・消化器内科・糖尿病内科・循環器内科・外科・心臓血管外科・
脳神経外科・整形外科・婦人科・泌尿器科・リハビリテーション科・放射線科・
人工透析(夜間透析あり)・麻酔科、24時間救急受入体制

医療法人社団 一陽会 服部病院

〒673-0413 兵庫県三木市大塚 218-3

TEL 0794-82-2550 FAX 0794-82-4399

ホームページ

服部病院

検索

<https://www.hattori-hospital.com>

(当誌は、ホームページでもご覧いただけます。)